令和２年度　吉岡町立吉岡中学校経営方針

経営構想図

■教育基本法
■学校教育法
■学習指導要領
■他、教育関連法案

学校教育目標

『主体的に学び、心身ともに健康で、他を思いやれる生徒の育成』

【目指す生徒像】
◆目標に向かって、工夫・改善をしながら、計画的に努力する生徒

■第３期群馬県教育振興計画
■群馬県学校教育の指針
■吉岡町民憲章
■吉岡町教育振興基本計画
■吉岡町教育行政方針、他

学校経営方針

【3つの教育：協育（きょういく）・共育（きょういく）・郷育（きょういく）】

生徒、教職員、保護者、地域が心を通わせ、お互いに学び合い、高め合い、思いやりと活力のある学校づくり「吉岡郷育」

1　一人ひとりの個性と集団の力が輝く学校
2　一人ひとりに確かな学力を付ける学校
3　主体的・対話的で深い学びを実感できる学校
4　互いの個性を尊重するいじめ・不登校のない学校
5　教職員が研修と授業改善を推進する学校
6　健康の増進と体力の向上に努める学校
7　危機管理体制の整備と安全教育の充実を図る学校
8　保護者や地域から信頼される地域とともにある学校
9　幼・小・中の連携による学習・生徒指導の共通理解

【目指す学校像】

◆生徒が生き生きと自主的に学ぶ学校
◆教職員が互いを認め合い高め合える学校
◆保護者や地域の信頼に応える学校（吉岡郷育）

【目指す教師像】

◆授業力・教師力を高める意識を持つ教師
◆人権を尊重する教師
◆服務規律を意識する教師

【望まれる保護者像】

◆学校生活の基礎である生活リズム、健康作りのできる保護者
◆家庭、学校のルールを守らせ、その躾のできる保護者
◆安らぎのある家庭環境づくりに努める保護者

【学校の実態】

・学力向上、豊かな心の育成に努めている
・主体的な生徒会活動へ向けて努力している

【生徒の実態】

・明るく活動的である
・挨拶、返事が定着している
・授業は落ち着いているが、自ら課題意識をもって自主的に意見交換する姿勢が少なく恥ずかしがる
・思いやりの心が多少不足している

【地域の実態】

・学校に寄せる期待が強く協力的であるが、保護者の意識の多様化が進んでいる
・「子どもたちを地域で育てる」という考え方や取組は定着してきている
・町議会の考えが、教育振興、教育環境に非常に力を入れてくれている

【本年度の努力点】

1　**主体的に学ぶ生徒**（学びの充実：職員が協力して育てる）
　① 主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善（校内研修）
　② 授業実践を通しての校内研修（特別の教科道徳・各教科部会）の充実
　③ 家庭学習・学習習慣の定着（小中連携事業：町全体会）

2　**心身ともに健康な生徒**（意識の充実：地域を含む外部指導者を取り込んで育てる）
　① 食育の推進による健康な体づくり（栄養教諭との連携：ＴＴ授業・訪問）
　② 体力向上に向けた体育的行事・部活動の指導内容等の充実
　③ 健康・保健教育の充実（養護教諭との連携：ＴＴ授業・学校保健委員会）
　④ 防災マニュアルを活用した安全管理、安全指導の徹底（危機回避能力）

3　**他を思いやれる生徒**（特別教科の充実：校務分掌の組織化）
　① 道徳教育・特別活動・総合的な学習の充実
　② 環境・福祉教育の充実
　③ 特別支援教育の推進
　④ 人権尊重の意識を高める人権教育の推進
　⑤ 生徒主体のいじめ防止の取組
　⑥ 不登校（傾向）生徒の早期発見・対応、適応指導教室等との連携推進

4　**三者連携の推進**（吉岡郷育）
　① 教育委員会・町校長会・町教頭会における連携推進
　② 外部人材を活用した教育活動の推進（ゲストティーチャー派遣）
　③ 学校運営協議会（コミュニティースクール）の効率的な運営
　④ 吉岡中ブロックにて、幼・小・中連携による学習・生徒指導の共通理解
　⑤ 生徒主体の文化祭「吉岡中文化の日」（地域参加型）

【評価の即時性・責任の明確化】

・行事ごとに時間を置かない評価の蓄積
・分担責任を明確にした提案性のある評価

【評価の妥当性・公開性】

・評価方法の多様化、評価内容の焦点化
・経営方針の公開と報告
・伝達方法の工夫

家庭・地域社会との連携

【学校情報の発信と受信】

・ＨＰ、学校便り、学年便り等の発行と充実
・保護者メールを活用した迅速な情報提供
・学校評価の改善、実施、活用
・教育相談やケース会議の実施

【地域人材や施設の活用】

・部活動指導員や部活動外部指導者等の適切な活用
・地域施設の活用

【関係機関との連携】

・自治会
・民生委員
・公民館
・町学校運営協議会（コミュニティースクール）
・三者連携推進協議会
・適応指導教室（ふれあい教室）
・駒寄小、明治小
・駒寄幼稚園
・第１～５保育園等
・警察